

年末恒例 今年のウリトンネを振り返る!

セセデ団体が頑張りました

今年 1 年を振り返っていつになくセセデ団体(チョチョン・青商会・ニヨメン)の活動が活発だったような気がします。

チョチョンは「チョチョン奉仕隊」として会津支部事務所の清掃、水害にあった浜通地域同胞の支援、高齢同胞のお手伝いなどで役に立ちました。また、新春のつどいや各支部の 8.15 行事に朝大生たちとともに公演を披露し同胞たちに元気を与えてくれました。

青商会は恒例化したハッキョチャリティーゴルフコンペ、パチンコ業者を対象にしたセミナーをきっちり催し、昨年台風で急きょ中止になった「東北 KK フェスタ」を開催地として幹事役をしっかりとこなしました。

ニヨメンでは未就学児童をもつオモニたちの「セセデセミナー」を定期的に開催し日頃学習する機会が少ない若いオンマたちの勉強する「場」を作り、その過程で同じ地域に住む子育て世代としてオンマと子どもとの交流を深めることができました。

地域のトンポと共に

広い福島県に点在するように住んでいる同胞たちにとって「ウリサラム」に会えるだけでうれしいことです。

各支部では花見、8.15 を祝う集い、忘年会など季節ごとにトンポ達がつどう場を設けトンポどうしのつながりを強める活動をしてきました。支部の行事の時には「みんなに会えるのが楽しみ！」と遠くから駆けつける方々が大勢いらっやいます。

楽しいニヨメンの活動

ニヨメンでは年間を通して文化教室に力を入れてきました。介護に関するセミナー、ブリザーブドフラワー、料理、陶芸などトンポたちから「やってみたい！」と意見を聞いたら積極的に取り入れてきました。

また、「ちょっとした遠足」のようなおでかけも企画し 1 人だと中々出かけられないけどニヨメンのおかげで出かけられたと好評を得ています。

11月に催された「女性のつどい」ではテレビでも活躍している朝大の先生を招いての講演もさることながら日頃会えない各地のオモニたちに会うことができたと参加者たちから喜びの声を聞くことができました。

ウリハッキョはみんなの心のよりどころ

ウリハッキョでは学生数が少ない中でも学生、教職員、保護者そしてハッキョを支援するすべての人たちのおかげで今年も元気に毎日を過ごすことができました。

特に今年の運動会は台風が接近する悪条件の中でも 130 人を超す同胞、日本人の観客をむかえて大盛況でした。学生たちの競技のどれもが練習を重ねたことを感じる事ができる素晴らしいものでしたし、観客を巻き込んでの競技はとても楽しかったです。

オモニ会ではこの日にバザーを行い、手作りパンチャンを盛り合わせたオードブルは大好評で完売し、その他の販売ブースも好評でした。

ハルモニ・ハラボジたちも野菜や果物を販売し、その収益で後日学生たちにおいしい食事を作って下さいました。

同胞たちも機会を見つけては「ハッキョのために…」と様々な支援をして下さり、中通支部役員たちは花見に先立ち側溝掃除をして下さいました。まさに「ウリハッキョ(我々の学校)」です。

2020年福島県同胞新春のつどい

新年のあいさつは新春のつどいで交わしましょう!

2020年1月11日(土)ベルヴィ郡山館

11時～ 10:30 受付開始

参加費 4,000円 (夫婦割 7,000円)

講演のみの場合 1,000円

台風19号

10月に福島県内を襲った台風19号は同胞たちにも被害がありました。家屋・店舗の浸水、自動車の水没、風による破損など多数確認されました。本部会館、浜通支部事務所も雨もり、浸水の被害がありました。